

運用ガイド

本ガイドでは自家消費出力制御システム「FLap」の基本的な使い方や機能の設定方法について説明しています。より詳細な機能説明については取扱説明書をご参照ください。

本体の電源ON

必要な付属品・ケーブルの接続完了後、本体左上部のスイッチをONにすると起動を開始します。

※ウォームアップに約2分要します。完了すると内蔵モニタのバックライトが点灯し、画面が表示されます。



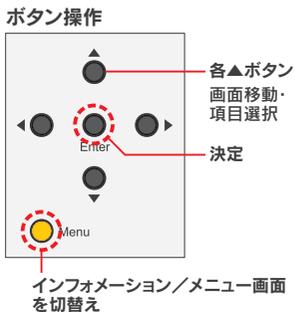
内蔵モニタ画面の操作/本体の電源OFF

正常に起動すると内蔵モニタにインフォメーション画面が表示されます。

<p>2022/03/20/11:16 FLap</p> <p>現在の発電電力 00.0 kW</p> <p>計測 計測中 一部欠測 全欠測</p> <p>PCS 運転 待機 停止 故障</p> <p>▲発電電力、計測状況、PCS状態を表示</p>	<p>2033/03/20/11:16 FLap</p> <p>本日の積算発電量 000 kWh</p> <p>今月の積算発電量 0,000 kWh</p> <p>前月の積算発電量 0,000 kWh</p> <p>▲本日・今月・前月の積算発電量を表示</p>	<p>2022/03/20/11:16 FLap</p> <p>制御指令値 0 %</p> <p>買電電力 00.0 kW</p> <p>発電電力 00.0 kW</p> <p>状態 消費電力計測異常 PCS制御異常</p> <p>▲本日・今月・前月の積算発電量を表示</p>
---	---	---

「Menu」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
▲ボタンで項目を選択し、「Enter」ボタンで決定します。

<p>USB</p> <p>サービスマン用</p> <p>安全電源OFF</p>	<ul style="list-style-type: none"> • USB出力 計測データ(CSV)の手動出力を実行 • USB安全取外し USBの取外しを実行 • USB定義反映 本体のバージョンアップ時に使用 • USB定義反映 IPアドレスの確認に使用
--	--



【本体の電源OFF】

①「安全電源OFF」を選択 → ②「はい」を選択 → ③画面の指示に従い本体左上部のSWをOFFにしてください

PR画面の表示



DVIケーブルで大型ディスプレイなどの表示用機器に接続するとPR画面を表示します。コンテンツは4種類で、初期設定では各10秒で遷移します。

※掲載画面はイメージです。
※各画面設定はWeb画面から行います。Web画面の閲覧・操作には別途PC、LANケーブルが必要です。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

PRモニタ



グラフ



指示板(※出荷時非表示)

写真

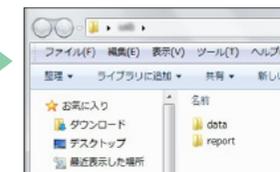


計測データのUSB自動保存/USBの取外し



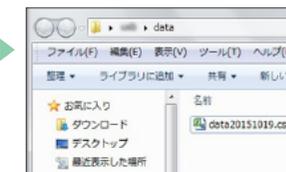
付属のUSBを本体に接続しておくと、毎日深夜4時5分に前日の計測データ(1分値、日報、月報、年報)がCSV形式で自動保存されます。

※任意の日付のデータをCSV出力する際は、Web画面に接続し帳票から出力します。詳しくは取扱説明書をご確認ください。



格納場所

1分値/
→ dataフォルダに保存
日報、月報、年報/
→ reportフォルダに保存



ファイル名

1分値/
日報/dayYYYYMMDD.csv
月報/monYYYYMM.csv
年報/yearYYYY.csv
※YYYYMMDDは日付が入ります

【USBの取外し】

①メニュー画面から「USB」を選択 → ②「USB安全取外し」を選択 → ③「はい」を選択

※USBを接続する場合には特別な操作は必要ありません。

深夜の自動保存時に本体内のデータとUSB内のデータを照合し、未保存期間があった場合はデータが補完されます。

Point-USBの取扱いについて

USBは常に本体に接続した状態で運用してください

- USBメモリはセキュリティー制御がかかっていない16GB以上(付属品推奨)のものをご使用ください。
- 本体には最大2ヶ月相当のデータを蓄積できます。上限を超えると、古いデータから順に削除されます。

以下のタイミングではUSBの抜き挿しを行わないでください

- ①USBメモリのランプ点灯(点滅)時
- ②深夜2時00分～5時00分

FLap 取扱説明書の閲覧方法(弊社ホームページにて公開しております。下記URLよりご確認ください。)
http://www.f-logic.jp/support/pdf/manual_product/manual_product_flap.pdf

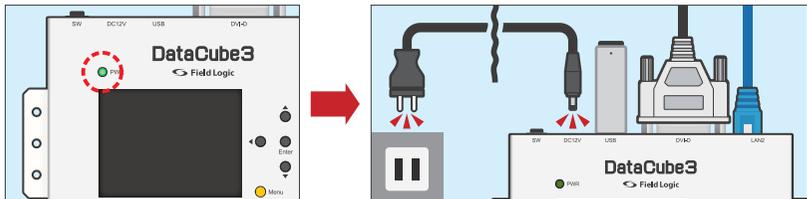
本点検表はFLapをご利用のお客様向けに、日常運用上での簡易点検項目を記したものです。

1. 本体の電源がONになっているか

check ▶

本体のPWRランプが緑色に点灯しているか確認してください。

消灯している場合は、ACアダプタが本体・電源コンセントに接続されているかご確認ください。



2. アラートが表示されていないか

check ▶

内蔵モニターでの確認



計測状況

表示	内容	対応
計測中	正常に計測が行われている	---
一部欠測	一部の計測項目データが正常に取得できていない状態	「3.信号送受信確認」をご確認ください。
全欠測	全ての計測項目データが正常に取得できていない状態	「3.信号送受信確認」をご確認ください。

PCS状態

表示	内容	
運転	正常運転信号を受信している	
待機	発電していません	
停止	発電していません	
故障	故障信号を受信している	→発電所の管理者様へご連絡ください

PR画面での確認(画面右上)



計測状況(左)

明示表示	暗示表示
一部欠測	■
全欠測	■

PCS状態(右)

明示表示	暗示明示
故障	■

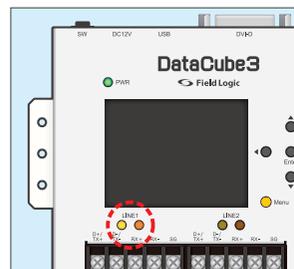
※PR画面では、正常に計測・PCSが運転している場合、アラートは表示されません。
 ※計測状況が全欠測時、PCS状態のアラートは表示されません。
 ※アラート内容・対応は内蔵モニター画面と同じです。また表示方式(明示・暗示)はWeb画面から変更可能です。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

3. 信号送受信確認

check ▶

RS485通信の場合

LINE1の左側ランプ(黄色/送信)と右側ランプ(橙色/受信)が交互に点滅することをご確認ください。



※左記は計測通信方式が「応答式」PCSの場合の挙動となります。
 「垂れ流し式」PCSの場合は、右側ランプ(橙色/受信)のみが点滅します。
 ※2系統接続の場合、LINE2のランプも同様の挙動となります。

Point-PCSの通信方式について

応答式:計測端末の要求にPCSが応答し計測データを送信する方式。
 垂れ流し式:PCSから計測端末へ一方通行で計測データを送信する方式。
 ※どちらの通信方式が採用されているかはPCSの機種により異なります。

→LINEランプが正常に点滅しない場合は、信号線が断線していないか導通をご確認ください。
 (信号線とPCSの接続方法や、機番号設定等については各PCSメーカー様までお問い合わせください。)

Ethernet通信の場合

信号線が断線していないか・LANコネクタが外れていないかをご確認ください。

4. 雷ガードのランプ確認

check ▶



大型ディスプレイなどの表示機器をご使用の場合、電源に接続している雷ガードのランプが点灯していることをご確認ください。
 ランプが点灯しない場合は同等品との交換を推奨しております。
 ※同等品:最大サージ電圧4500V、バリスタ電圧240V

FLap 取扱説明書の閲覧方法(弊社ホームページにて公開しております。下記URLよりご確認ください。)
http://www.f-logic.jp/support/pdf/manual_product/manual_product_flap.pdf